

令和2年第3回定例会

令和2年11月1日 発行

せんなん 議会だより

2020

11

No.75

Close up

令和元年度 決算審査

SENNAN
LONG
PARK

一般質問



各議員から提出された原稿をそのまま掲載しています。掲載順位は質問順です。



スマートフォン等で、二次元コードを読み取ると、録画映像のページへアクセスできます。



一般質問とは、議員自身の考え方や調査・研究をもとに、市政全般の施策について、市長等執行機関に見解を求める唯一の機会です。

岡田 好子

(公明党)



1. 認知症高齢者支援について

認知症高齢者の損害賠償保険について一自治体補償を。
→国でも政策効果を分析中との答弁。



2. 猛暑対策について

都市緑化を活用した対策事業について一厳しい暑さが継続。令和5年までの事業のため是非市としても計画を。

3. 「地域未来構想20」について

泉南市の構想について一自治体と各分野の専門家・関係省庁をマッチングして官民連携を推進するもの。地方創生臨時交付金を活用し、強靱かつ自律的な社会経済の構築へ。
→市として行政のIT化・地域の再エネ・分散型電源の活用・コンテンツビジネス等民間企業と連携検討中との答弁。

4. 子ども支援について

子どものストレスケアについて
一 子どもへのストレスチェックを考えてほしい。
→中学生には、相談窓口一覧を配布予定。子どもへのストレスチェックは広報への掲載も検討するとの答弁。



堀口 和弘

(未来せんなん)



●GIGAスクール構想について

- ・小中学生1人1台の導入、ランニングコストについて
- ・iPadを使用したデジタル教科書の可能性について

●修学旅行の中止について

- ・保護者負担とされるキャンセル料は、キャンセル料が発生するタイミングで決定した市教委が負担すべき。

●地域活性化について

- ・砂川樫井線延伸部の農用地などの土地規制を緩和し、新たなまちづくりを進めるべき。
- ・新家駅前のスーパー撤退を踏まえ、新たな事業者による再開については、新家公民館も含めていただき、まちづくりを進めるべき。

●経済活性化について

- ・新型コロナ禍においての、泉南市の経済状況は把握されているのか？

山本 優真

(大阪維新の会)



●砂川樫井線（新家側）延伸の完成時期

→完成目標は令和6～7年との答弁

●泉南中学校の約100箇所の整備不良について指摘

→重大な不具合の有無も含め調査する旨の答弁

●感染症対策として泉南市独自基準の策定

→公立学校園や保育施設については独自基準のマニュアルを策定済み

●公務員特権の給与制度「わたり」の廃止

→今年度中に協議を進め改革する

●後回しになっている学校老朽化対策

→学校再編案を年内に発表する旨の答弁

●公金着服問題について

不明金約5,300万円以外に非正規店での売り上げ着服344万円があることが判明

→合計約5,640万円の回収は必須だが、全額損害回復できるか不明なため市役所組織のトップとしての市長の責任は大きい。

●不祥事正と財政難脱却のための「外部監査制度」の導入を提案

→一定期間の導入に向けて現在検討中

●新たな会計不適切処理の問題について

債権管理条例による対応をしなかった児童扶養手当返還金約93万円の時効問題

→調査し議会に報告する旨の答弁

竹田 光良

(公明党)



今定例会での私の一般質問は、

1. 新型コロナウイルス感染症については、これまでの経過と行政の対応について。危機管理とガイドラインについての考え方。市民への情報発信についての説明責任について問いました。

今後の対策については、的確にニーズを把握し、必要な対策を行い、情報収集の在り方について質しました。

2. 公金の不正な取り扱いについては、今事件の行政としての認識について。第三者委員会の報告書への見解。組織改革への具体的な方針について問い、竹中市長にはあらためて市民の皆さんへのメッセージを求め、第三者委員会の報告書に沿った改革の必要性を訴え、市民の皆様の信頼を勝ち取る改革について質しました。

3. 教育については、新型コロナウイルス感染症への対応について。小中学校の老朽化対策について。JETプログラムについて。に対して問い、特に学校の再編案を複数案提示するとの教委の答弁に対して、学校の再編の在り方については、あくまでも子ども達にとって何が最善かを念頭に再編案の構築をお願いしました。

河部 優

(新政せんなん)



1. 教育行政について

①教科センター方式の成果と課題について質問

→検討組織を立ち上げて取り組むとの答弁

②学校施設の再編について質問

→年内には複数案を議会や市民に対して提示するとの答弁

2. 新型コロナ対策について

①感染予防対策の取り組みについて質問

→今後も感染予防に全力をあげるとの答弁

②市内事業所への独自支援について質問

→今後検討するとの答弁

③コロナ差別や人権侵害の状況について質問

→人権条例審議会等で啓発のあり方など議論するとの答弁

3. 市営住宅の老朽化について

①建て替え計画について質問

→個別施設計画で検討するとの答弁

4. 市長の市政運営について

①2期6年間の取り組みとして実績などを質問

②市民からの負託を受けた市長の役割について質問

→任期を全うし市政に全力を傾注したい
不祥事などへの対応もしっかり取り組むとの答弁

梶本 茂麿

(無所属)



私達の議員任期が終わります。振り返ればこの4年間、泉南市では行政の不祥事や事件が連続し、市長や行政に対する責任追及に追われ、議会も行政も本来の機能が働いていいたと思えません。又世界的規模で蔓延した新型コロナウイルスにより、社会も経済もパニック状態となりました。

泉南市は多くの課題を抱えております。そこで私は「新型コロナウイルス終息後の未来像について」のみ質問致しました。

●将来構想に向けた専属チームの設置について

→NOの答弁

●第6次泉南市総合計画策定と泉南市活性化のテレワーク、リモートワーク、サテライトオフィス誘致について

→今後の課題である旨答弁

●現状のコロナ対策について

→市独自策はNOの答弁

●来年度の予算編成

→尚一層の緊縮財政の可能性有りと答弁

●20～30年後の未来像について

①社会的弱者の高齢者、障害者に対する対策について

→現状のままの可能性あり

②教育面では老朽化した校舎の建て替えは財政面無視してでも何か計画があるか

→NOの答弁

③新しい生活様式での泉南市活性化に向けた計画について

→NOの答弁

今回は目先の事ではなく、将来を見据えた構想を語っていただきたく質問を致しましたが、いつまでも我慢我慢の改革ではダメで、明るい未来を指し示す必要があります。

行政も議会もです。

古谷 公俊

(大阪維新の会)



1. コロナウイルス感染について

※地域振興券について

※他市のようになぜ現金給付出来ないのか？また理由は？

※基金を活用する事は出来ないのか？

※現在も困っている市民について追加応援や対策は。

※夢花火で10月開催時の樽井駅周辺の大混雑・三密対策は？

※市の独自対策や市民への感染時のガイドラインは。

※泉南市・独自の見える化対策は？

※「見える化対策」イオン泉南が無理なら市の他施設での考えは？

2. JR和泉砂川駅前整備について

※等価交換に至った経緯は？

※当該民間店舗の立ち退き移転後に伴い、現地に動きがないが進捗状況は？

※駐輪場有料化について通勤・通学への費用がかさむ為の絶対反対についての意見。

※市民の共有財産であった土地を財政難の市が無償で等価交換した理由をなぜ市民へ報告しないのか？

※バスの待ち合わせ場所に雨除けを付ける予定はないのか？

和気 信子

(日本共産党)



1. 新型コロナウイルス感染症対策について

●感染陽性者の接触者等（保護者が感染者となった場合の乳幼児等の保護を含め）必要な人にPCR検査を！

●避難所の防災対策及び3密を避けコロナ対策をすること。

→消毒液・マスク・間仕切り・大型扇風機等が設置された。

●熱中症対策として学校の特別教室・体育館にエアコン設置を！

●収入が減った方の国保・介護保険料の軽減を引き続き行うこと。

2. 格差をなくし子育て支援の拡充を

●子ども医療費助成は高校卒業まで拡充を！

●来年度も学校給食費の無償化を！

●就学援助費の全額支給を！

●児童虐待防止対策は地域・学校等が連携を！

3. ジェンダー平等について

●選択的夫婦別姓の推進を。自治体でできることから始め、国にも法制化を求めること。

●当市の計画に基づき女性幹部の登用で市政運営を活発にすること。

4. 介護保険制度施行20年の施策について

●介護保険料・利用料の値上げ・特別養護老人ホーム入所要件は要介護3からとなった。安心して介護を受けられるよう高齢者の負担増を軽減し、介護予防対策の拡充を求める。

●介護労働者の処遇改善をして賃金向上を図り、高齢者施策の充実を求める。

一般質問

田畑 仁

(自民党市議団)



くみ取り券の長きに渡る使途赤字不明金(約5,000万)による、横領、詐欺事件のケジメとして市長に対し、「市民に説明責任を果たし、自らの進退を民意に問うて欲しい」と訴えた。

そして、役所も議会もゼロからやり直そうと願った。

次に、西信達小中学校の老朽化による雨漏り等で、児童・生徒達がどれだけ我慢をしているか、ご家族がどれだけ不安な想いをしているか訴え、学校施設建て替え、小中一貫校の結論を求めた。そして、コロナの影響で子どもたちの大切な時間が遮られた中、子どもたちの想いで創りに徹する約束はどうなったのか、何故、修学旅行の代替案を伝える前に中止を打ち出したのか問いただした。教育委員会は親身に子どもたちのことを考えてほしいと訴えた。

一期4年最後の一般質問も本気でやりました。
是非YouTube等でご覧下さい。

森 裕文

(未来せんなん)



緊縮財政から積極財政への転換を！

緊縮財政を続けても、コロナ禍も加わって、財政再建は叶わない事態に、市民サービスも低下する。

将来負担を伴う財政出動をして、老朽校舎を初めとする必要な施設更新を積極的に行う。

将来負担は地域経済を活性化することで展望が開ける。

地域経済の活性化は、地域経済循環構造を構築することで展開できる。

大森 和夫

(日本共産党)



【新型コロナウイルス対策について】

●PCR検査が開業医で受けられるようにする。
医師会と集団契約を結び、保険適用のPCR検査を実施できるように支援を行うこと。

●少人数学級の実現を。
3密をさけ、子どもに目が行き届く教育を実現すること。

●財政難でもコロナ対策はできる。
市のコロナ対策費は10億円(うち国の交付金が約7億円)である。学校給食費の無償化、地域振興券などが実現。税金の使い方を見直せば地方自治体にまわす財源はある。

【くみ取り券代の着服事件について】

真相究明と再発防止に全力をつくし、不正を見逃さない職場をつくること。

澁谷 昌子

(公明党)



1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 高齢者インフルエンザ定期予防接種の無料化について
- ② 避難所でのコロナ感染症対策について
- ③ 指定避難所への誘導板設置について → 今年度中に設置完了予定。
- ④ 期日前投票所を含めた、投票所の感染症対策について
- ⑤ 図書館への「書籍消毒機」の導入について

2. 高齢者支援について

- ① 「介護者手帳」の導入について
- ② 「高齢者緊急通報システム」について

3. 市民サービスの向上について

- ① 「おくやみガイドブック」の作成について

4. 債権管理について

- ① アニメを活用した税の徴収に関する若者向けパンフレットの進捗状況について
- ② コロナ禍による債権徴収について

議案番号	案件名	結果	公明党					未来せんなん		大阪維新の会	新政せんなん	自民党市議団	日本共産党	無所属	
			岡田好子	竹田光良	澁谷昌子	森裕文	堀口和弘	南良徳	山本優真	古谷公俊	河部優	金子健太郎	谷展和	田畑仁	和氣信子
泉南監報告第5～9号	例月現金出納検査結果報告	報告済	-	-	-	-	-	※議長職を執り行う為、賛否に加わりません。議長は賛否同数のときのみ裁決し、議案の可否を決定します。	-	-	-	-	-	-	-
報告第1号	専決処分の承認を求めるについて(令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第2号))	原案了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	専決処分の承認を求めるについて(令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第3号))	原案了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	専決処分の承認を求めるについて(令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第4号))	原案了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率について	報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第5号	令和元年度大阪府泉南市下水道事業特別会計決算に基づく資金不足比率について	報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第1号	泉南市監査委員の選任について(市橋直子氏)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第2号	泉南市固定資産評価審査委員会委員の選任について(佐藤さゆき氏)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	人権擁護委員を推薦するための意見を求めるについて(古谷美枝子氏)	適任と認め	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	人権擁護委員を推薦するための意見を求めるについて(上野和子氏)	適任と認め	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	人権擁護委員を推薦するための意見を求めるについて(楡山政宏氏)	適任と認め	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	裁判上の和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	泉南市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	泉南市子どもの医療費の助成に関する条例及び泉南市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	泉南市重度障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	泉南市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和2年度大阪府泉南市榑井地区財産区会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和2年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和2年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和2年度大阪府泉南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和2年度泉南市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和元年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について	議長裁決により原案不認定	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
議案第18号	令和元年度大阪府泉南市榑井地区財産区会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19～28号	令和元年度大阪府泉南市狐池財産区会計歳入歳出決算認定について(ほか9件)	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和元年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第30～33号	令和元年度大阪府泉南市(下水道事業・汚水処理施設管理・介護保険事業・後期高齢者医療事業)特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和元年度大阪府泉南市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第35号	動産の買入れについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第5号	オンライン投票の環境整備を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第6号	新型コロナウイルス感染拡大のもとPCR等検査の抜本的強化を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
議員提出議案第7号	泉南市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×
	閉会中の継続調査について	継続調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案審議

提出された議案の中から、主な質疑、討論を要約してお知らせします。
全ての議案の賛否一覧は5ページに記載しています。



9月18日最終本会議録画映像
(委員長報告・討論及び採決)



9月7日本会議4日目録画映像
(議案の提案理由及び質疑等)

【報告第1号～3号】専決処分の承認を求めるについて（令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算（第2号～4号））

新型コロナウイルス感染症対策事業・豪雨被害による災害復旧事業 等 緊急予算措置を行いました。

主な内容

- 妊産婦支援給付金(1万円)の支給に係る経費 ————— **336万1千円**
- R2年4月28日からR3年3月31日の間に産まれた
新生児1人につき10万円の新生児支援給付金の支給に係る経費 ————— **5,617万8千円**
- 学校の児童生徒の感染症対策に伴う消毒液・冷却タオル・教材ソフト等の経費 — **5,322万3千円**
- 小中学校給食費無償化(R2年8月からR3年3月)に係る経費 ————— **1億3,004万9千円**
- サーモグラフィ購入に係る経費(市役所本庁舎・保健センター・火葬場) ————— **199万6千円**
- * その他施設
(総合福祉センター、各公民館、市民体育館、市民交流センター、図書館、文化ホール等)についても
サーモグラフィや感染症対策の物品購入、避難所(一部)空調設備の更新修繕費 を計上
————— **960万2千円**
- キャッシュレス決済等の推進・1世帯につき1万円の地域振興券の交付に係る経費 — **3億3,300万円**
- 民間外部テストの実施(中3生対象)、遠隔・オンライン学習関連物品購入経費 ——— **4,035万7千円**
- R2年7月25日の豪雨被害による災害復旧 ————— **200万円**
- 泉南ロングパークP Rグッズの作成に係る経費の増額 ————— **300万円**

泉南市議会議員の定数を削減しました。(16→15)

山本 優真議員外5名の賛成者から
「泉南市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について」を提出しました。
提案理由及び趣旨説明を山本 優真議員から行い、質疑、討論の末、賛成多数で可決となりました。
右記コードを読み取ると詳細がご覧いただけます。
(R2年10月の一般選挙から適用)



【提案理由】

現在の厳しい財政状況や泉南市の相次ぐ不祥事を鑑み、行財政改革及び議会改革の推進に資するため、議員定数の削減を行う必要があることから提案するものです。
泉南市では深刻な財政難であるにもかかわらず、留守家庭児童会等の会計不適切処理問題や、し尿汲み取り事業の公金着服事件、国民健康保険の過剰請求問題などの複数の不祥事が起きており、行政側の対応が不祥事は正につながっていない状況です。
そこで、議会として議員定数削減の「身を切る改革」を行い、これらの経費を外部監査制度導入のための財源にすべく今回の提案となりました。
なお、本案が施行されると議員の任期4年間で3,000万円以上の経費縮減が実現します。
議員の皆さまにおかれましては、これらのことを十分に勘案していただきまして、本案にご賛同いただきますようお願いいたします。

反対討論

定数削減は主権者・市民の声を切り捨て、市政のチェック機能を弱めるもの。そのため4年前は議会改革の論議をかさね、定数削減を決めた。今回は、議会の最終日に合理的な理由も示さず提案された。市の不祥事がおこるもと、活発な議論が進む議会改革こそ必要。

反対討論

今回の定数削減案は動議として唐突に提出されたものであり、議員定数など議員の身分に関わる案件は十分な議論を経て提出されるべきであるという理由で反対する。



予算の使い方・成果・効率性を議会がチェック

令和元年度 泉南市各会計歳入歳出決算認定



令和元年度決算書、主要施策等の成果説明書などを基に、決算委員会において慎重に審査を行いました。決算委員会は、見直しが必要と思われる事務や事業、要望などを市に伝え、解決策をさぐり、今後の業務改善につなげる重要な役割を担っています。今よりも財政の視点をもって行政運営が行えるよう、さまざまな議論を行いました。主な質疑内容、討論は以下のとおりです。

令和元年度決算審査特別委員会冒頭の市長挨拶 一部抜粋

令和元年度一般会計予算内において、元職員によるし尿くみ取り券の売上金詐欺事件が発覚。被害額は90万3,820円。

これを受けて、令和元年度決算書については被害額として特定できていないものがある。しかしながら、その他の予算執行に対しては正確に反映しており、本来収入すべき被害金額が確定できた段階で調定を行い、当該年度の決算書に過年度分として反映する。

し尿くみ取り券売上金額について正確な金額が反映できていないことに対しお詫びする。

賛成討論

本決算は、本来含まれるべき金額が含まれていない（元職員による、し尿くみ取り券の売上金詐欺事件で判明した約90万円）。しかし、決算委員会の質疑で市長より、今後、令和2年度会計内に盛り込み処理したいということ、また、5,000万円もの不明金についても民事訴訟を検討しているとの答弁があった。その他事業については、着実な事業遂行が行われており問題がないとの観点から賛成する。

賛成討論

令和元年度の歳出決算額は233億744万8千円。前年度より約16億300万円の減額。基金残高も増大。個々の事業も多くは厳しい状況の中で目的に沿った支出であり、市民生活の向上につながる予算の執行であったと考える。しかし、公金着服や交付金の二重申請等信頼回復には相当の努力が必要。今後も経費の削減、行財政改革の徹底により財政健全化と市民の福祉の増進に努力されることを願い賛成。

反対討論

21号台風による学校プールの破損を理由に、学校プールを廃止した。学校のプール授業や夏休みの家族や友達とのプール遊びを楽しみにしている市民がいる。これらの市民の意向を無視した大義のないプールつぶしは認められない。くみ取り券の不正事件は担当者まかせの無責任体制が原因。くみ取り券販売の赤字を見逃す組織改革が必要。市民の信頼を取り戻すため、前向きな改革に協力する。

反対討論

去年は、し尿くみ取り券に係る公金横領事件に絡み、正しい数値が記載されていないこと等が理由で、平成30年度決算が不認定になった。本議案も、新たにし尿くみ取り事業で詐欺事件が判明。くみ取り券の非正規販売店での売上金が360万円あったが、会計課には入金されていない。市に入るべきお金が入っていない。正しい数値が決算に計上されていない時点で、決算書は不適切な状態であり、到底認定できない。

反対討論

役所の仕事は遊びでは無く、政治も遊びでは無いと強く訴え、また、決算委員会では認定可決されたことが全くもって間違っていると指摘し、与野党の政治的判断で流れる議会が間違っていると申し上げた。くみ取り券の約5,000万の使途赤字不明金（担当職員による横領、そして詐欺）による事件の部分で、詐欺の事件が令和元年度中である事を指摘し、決算の数字が完全に不明確という理由で反対した。

委員質問 ---

債権徴収計画において、目標徴収率の80%程度の達成にとどまっているが見解は。

担当答弁 ---

債権管理条例に基づき、納付状況等の異なる様々な債権（市税、保険料、返還金など）の前年度決算額等を参考にし、各担当課において目標設定を行っている。今後も全庁的にしっかりとした取組を進めていく。

委員質問 ---

し尿くみ取り券について、今後の市の方向性は。

担当答弁 ---

第三者委員会の提言にもあるように、廃止に向けて関係各所と調整していく。

委員質問 ---

第6次行財政改革実施計画がスタートし、初年度の決算となる。歳入面での反映状況は。

担当答弁 ---

税込確保の面では、目標徴収率を95.5%としていたが、実績値は約1%増、金額では約7千万円の増加となった。

委員質問 ---

我々の任期中に2度（平成28年度決算、平成30年度決算）、一般会計予算について、議会は不認定の判断をした。本決算について冒頭に市長から発言があったが、元職員によるし尿くみ取り券の売上金に係る詐欺事件を受け、本来反映すべき数字、市民サービスのために生かされるべき手数料が反映されていない。この決算を我々は審議しなければならない。市長は市長の任期中で整理し決着をつけるとのことだが、今後の処理、進め方はどう考えているのか。

市長答弁 ---

今般の事件で業務上横領罪は不起訴となったが、横領のあった金額は我々も調査し、民事訴訟において請求しなければならない。私の任期はあと2年足らず。その間、極力全てを明確にし正しい決算を打っていきたい。

意見書を 提出しました

3件

今回可決された意見書は、泉南市議会からの意見・要望として国や関係行政庁宛提出いたしました。

可決
全会一致

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがなくなっている。地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2、地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3、令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5、とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99の規定により意見書を提出する。

令和2年9月18日

泉南市議会

【意見書 提出先】

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、
経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、衆参両院議長

可決
全会一致

オンライン投票の環境整備を求める意見書

情報通信技術の発達とともにインターネットの普及率は上昇し、総務省の調べでは2018年のインターネット利用率（個人）は79.8%となっており、インターネットの利用は国民の日常生活の中に十分広く浸透している。また、国においては、2001年の「e-Japan戦略」策定以降、2013年の「世界最先端IT国家創造宣言」を経て、2018年には「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」に基づく「デジタル・ガバメント実行計画」が策定され、行政手続きのオンライン化、デジタル化を強力に推進してきた。一方で、選挙事務においては未だに投票所に向いた上での投票用紙への筆記による投票が原則とされており、その開票についても多くの自治体が手作業で深夜まで集計作業を行っているのが現状である。加えて今般、新型コロナウイルス感染症の拡大による「新しい生活様式」への移行が国を挙げて進められる中、投票所での感染拡大を防止するためにも、オンラインを活用した投票環境を整備する必要性はこれまで以上に高まっている。よって国におかれては、オンラインを活用した投票環境の整備に向けた具体的な議論を進め、可及的速やかにオンラインでの投票環境を整備されるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月18日

泉南市議会

【意見書 提出先】

内閣総理大臣、総務大臣、衆参両院議長

可決
賛成多数

新型コロナウイルス感染拡大のもとPCR等検査の抜本的強化を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大防止にかかわって、4月7日に緊急事態宣言が7都道府県で発出された。その後全国で宣言され、事業活動の自粛や外出自粛などが国民に要請されたが、5月25日には一定の効果があつたとして宣言が解除された。ところが、7月以降感染拡大が再び増大し、感染第2波の状況を呈している。泉南市でも感染者が一気に10人を超えた。さらに清掃業務従事者が感染し、ごみ収集体制にも影響が出ている。いま、求められているのは、経済活動の推進と両輪での感染拡大防止であり、そのためにはPCR等検査（抗原・抗体検査含む）の抜本的な体制整備で無症状の感染者を含めて保護・治療を行うことである。「感染拡大防止が最大の経済対策」との立場からの検査体制整備と、「補償とセット」での休業要請が肝要である。よって、国に対し、下記のとおり強く要望する。

記

- 1、いつでも、誰でも、何度でもPCR検査が受けられる体制をつくること。
- 2、感染者が判明した場合、感染震源地(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全員に対してPCR検査等をおこなう体制をつくること。
- 3、医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設の職員、出入り業者への定期的なPCR検査等をおこなうこと。
- 4、検査で陽性と判明した人を保護・治療する施設を緊急に確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月18日

泉南市議会

【意見書 提出先】

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

編集後記

議会報編集委員会の委員長に3年間携わる中で「既成概念にとらわれない見やすい議会だより」をテーマに置きつつ「議会だよりの校正の一新」と「携帯アプリでも閲覧できる議会だより」を実施しました。より見やすい議会だよりに向けて、これからも市民の皆さんからのアドバイスやご提案をお待ちしております。



<http://machihiro.town>
せんなん議会だよりはアプリ配信中。